

有明3ひがた

ラムサール市民だより

荒尾干潟・東よか干潟・肥前鹿島干潟

創刊号・平成29年1月発行

発行：環有明海ラムサール市民だより
実行委員会

荒尾干潟保全・賢明利活用協議会（熊本県荒尾市）
東よかまちづくり協議会（佐賀県佐賀市）
まえうみ市民の会（佐賀県鹿島市）

協力機関 荒尾市環境保全課、佐賀市環境政策課、
鹿島市ラムサール条約推進室

編集担当：まえうみ市民の会（当番制）
年3回発行・各施設にて配布・PDF配信

祝
創刊!

有明海沿岸には「荒尾干潟」、「東よか干潟」、「肥前鹿島干潟」の3ヶ所にラムサール条約登録湿地があります。

それぞれの登録湿地で市民団体が活躍していますが、県も異なる事からか、「なかなか情報が入ってこない」、「交流活動がない」といったさみしい問題がありました。そこで、「お互いの情報をもっと交換し合って仲良くなろう」、「もっと多くの有明海沿岸の市民の皆さんに私達の活動を知ってもらおう」という目的で、「ラムサール市民だより」を創刊する事となりました。年3回発行、編集持ち回り制で、初めはいろいろと大変ですが「長続きするよう」頑張っていきます！

発刊によせて

五十嵐勉

佐賀大学全学教育機構
（人文地理学）・教授



「荒尾一東よか鹿島新籠」を線で繋ぐ「環有明海ラムサール市民連合」が動き出した。

ラムサール条約登録で不可欠な鳥獣保護区のような人が線引きして描いた「地図」は、クロツラヘラサギやシギ・チドリなどの野鳥の目には見えない。昨今の頃、佐賀の白石平野のレンコン堀に張り巡らした防鳥ネットに、クロツラヘラサギがかかり死んでしまった。日本野鳥の会佐賀県支部・行政・JAなどの関係者が話し合い、レンコンの食害を引き起こす淡水カモに限定しない野鳥の防除方法の改善に取り組みをはじめたという。その成果の結果かどうかはわからないが、今年は、今の所クロツラヘラサギの被害報告はない。

鳥獣保護区外を含めた野鳥保護と農業・海苔養殖等の生業との共存のため知恵（ワイズ・ユース）が求められている。遊びや生業・暮らしの中で培ってきた干潟・湿地との関係性（「前海」の関係性）は、伝統的で多様な資源利用の減少や食文化の変化によって、希薄化の一途をたどっている。

韓国の順天湾では、ナベツル・マナヅルへの人工給餌のみならず、干拓地での有機農業への転換による自然採餌を可能とする農地生態系の保全、水田の電線の撤去（当然、電柱も）、葦原湿地の保全と再生、直線化した河川の再蛇行化による湿地再生、これらの干潟・湿地を学ぶ環境学習とエコツーリズム、農漁家レストランでの地産地消、伝統的農家建築の再生による農家民泊の振興など、経済的循環系の再生を含むポジティブ・アクションを展開している。順天市の都市戦略は、エコタウンの町づくりの一環である。環有明海ラムサール・ネットワークの構築が、干潟・湿地のワイズ・ユースによる環有明海地域の持続的・内発的な発展に貢献する事を祈念すると共に、僕も微力ながら尽力したいと思っています。



順天湾の干潟・葦原・シチメンソウ群落

発刊によせて

「分かちあう・つながりあう

心の鏡が干潟」

山下博美

立命館アジア太平洋大学准教授
日本湿地学会理事

子どもの頃は貝をとりに行くだけで名前も知らなかった干潟。

でも今は、「干潟はその町の心を写す鏡」だと思っています。その町の先輩たちが「自然と人間は切りはなせない」、「自然の恵みは独占せず、分かち合ってこそ宝」と事あるごとに決断してきたからこそ、今ここに干潟があるのです。この分かち合いの広いひろい心は、お隣さん同士にも、他の生き物たちにも、そして将来の私たちにも及んでいました。

この哲学と、それぞれ大変魅力ある干潟を持つ3市の住民とファンたちが、今度はラムサールで繋がる。市民だより発刊、本当におめでとうございませう！干潟ブームは、すぐそこまで来ています。この時を一緒に分かち合い、自慢に思い、そして楽しんでいきましょう！

荒尾干潟にて
マジック採り！





荒尾 — 干潟 —

荒尾干潟 (熊本県荒尾市)

荒尾干潟は有明海の中心部から東側に位置し、南北約 9.1 km、東西最大幅約 3.2 km、干潟面積約 1.656ha で、国内最大級の干潟です。荒尾干潟には、流入する河川はありませんが、有明海の潮流で運ばれた土砂や貝殻が堆積して、干潟が形成されています。歩いて沈みこむことはなく、同じ有明海でも佐賀県側の泥干潟とは性質が異なります。

荒尾干潟には、小型の甲殻類、貝類、ゴカイ類などが生息し、また、荒尾干潟は国内有数の渡り鳥の飛来地となっています。海苔の養殖や採貝漁業などの漁業の営みが現在も行われています。荒尾干潟は、平成 24 年 6 月に国指定鳥獣保護区及び同特別保護地区に指定され、その年の 7 月にラムサール条約湿地に登録されました。

活動状況

11 月 26 日に荒尾干潟保全・賢明利活用協議会で鹿児島県の「なぎさミュージアム」に視察研修に行ってきました。

なぎさミュージアムでは、どのようなビジターセンターにするか住民と何回も話し合いが行われ、その結果周辺松林の清掃が地域住民の自主的な活動で行われるようになったそうです。ゴミ一つ無い非常にきれいな施設でした。またビジターセンターが地域の情報交換のサロンの的に

利用され、住民間の安否確認にも活用されているのは、大変参考になりました。



清掃に来た子どもが海岸の松から落ちた松ぼっくりを道端に並べ置いた事から広がった清掃活動のシンボル『松ぼっくりロード』

編集担当より

荒尾干潟保全・賢明利活用協議会作業部会は、昨年 7 月に活動を始めました。

メンバーの熱い思いを繋げ「また来たい」ビジターセンターを作ることを目指しています。

荒尾干潟 担当 祝原

今回の一枚



今回は、荒尾干潟についてご紹介します。荒尾干潟は土砂や貝殻が積もってできた干潟で、有明海奥部の泥干潟とは性質が異なります。荒尾干潟では、漁業者がテラー、自動車、バイク、自転車、徒歩など、思い思いの方法で作業のために沖合に行きます。

野鳥飛来状況

12月21日(水) 干潮/7:41 満潮/14:04

調査時間/10:00~13:00

シロチドリ 52 羽、メダイチドリ 18 羽、

ダイゼン 119 羽、アオアシシギ 12 羽、

ヒドリガモ 176 羽、カルガモ 29 羽、

スズガモ 1850 羽、セグロカモメ 7 羽、

ズグロカモメ 8 羽、ミサゴ 5 羽、

アオサギ 7 羽、ダイサギ 3 羽、

コサギ 13 羽、

長洲港の外堤防にクロツラヘラサギ 9 羽休息

観察会・関連行事のお知らせ

●世界湿地の日 荒尾干潟の絶滅危惧種観察会

日時 29年1月9日(月・祝) 8:30~10:30

集合場所 荒尾競馬場跡地南側駐車場

問合せ 荒尾市環境保全課 0968-63-1386

●荒尾干潟探鳥会・清掃活動

日時 29年1月29日(日) 10:00~12:00

集合場所 蔵満海岸

問合せ 日本野鳥の会熊本県支部

西村 090-1369-9157

●世界湿地の日記念行事

「シギ・チドリ類の渡りの今—荒尾干潟で希少種ヘラシギと普通種ハマシギを守る—」

日時 29年2月5日(日) 10:00~16:00

第Ⅰ部 「ラムサール登録荒尾干潟を歩こう」

10:00~11:00 集合場所 蔵満海岸

第Ⅱ部 講演・報告会 13:00~16:00

場所: 荒尾総合文化センター小ホール

問合せ ラムサール・ネットワーク日本

高野 0965-33-5447



東よか — 干潟 —

東よか干潟 (佐賀県佐賀市東与賀町)

佐賀県南部の有明海奥部北岸に位置し、東与賀干拓(大授地区)の南に広がる泥干潟です。クロツラヘラサギ、ズグロカモメ、ツクシガモなどの絶滅危惧種を含む水鳥類の国内有数の渡りの中継地、越冬地となっており、シギ・チドリ類の渡来数は日本一を誇ります。

また、海岸には塩生植物シチメンソウの国内最大の群生が広がり、無数のカニ類やムツゴロウ、トビハゼなどの生物が観察できます。

自然環境豊かな東よか干潟は、野鳥観察や子ども達の環境学習の場、そして観光や癒しのスポットとして、たくさんの方に利用されています。

- ・所在地 佐賀県佐賀市
- ・登録面積 218ha
- ・湿地のタイプ 干潟
- ・保護の制度：国指定鳥獣保護区特別保護地区
- ・登録：2015年5月

活動状況

11月18日(金)ラムサール条約登録湿地の地元である、東与賀小学5年生92名が参加して、東よか干潟の自然観察会を学校・佐賀大学・市等の協力を頂き、東与賀まちづくり協議会がサポートをして実施しました。



自然観察会での生き物調査では、佐賀自然史研究会の副島和則先生の指導により、カニの巣穴に石こうを流し込み巣穴の状態や数を調べたり、秋のシチメンソウの生育状況や数調べ、干潟の土層調べ、潟泥の表土から葉緑素を抽出する調査、泥の中の生き物調査を参加者全員で行いました。子どもたちは泥まみれにながらも、泥の中にいた稚貝やゴカイを見つけては、大はしゃぎしながら楽しく調査をしていました。



野鳥観察では佐賀野鳥の会や日本野鳥の会佐賀県支部の方々の指導で、初めて見るたくさんの野鳥に子どもたちは感動していました。今回の自然観察会を通して、東よか干潟の環境保全の大切さについて、少しでも学ぶことができたのではないかと考えています。



今回の一枚



11月27日(日)東よか干潟にて、大分県九重町のタデ原湿原で活動している「チームタデ原」の子どもたちと、東よか干潟ラムサールクラブの子どもたちとの交流会が行われました。あいにくの雨でしたが、広大な干潟や干潟の差の大きさに見入っていました。また、野鳥の観察も行い、九重町の子供達は九重地域の野鳥との違いや多さに驚いているようでした。この後、干潟よか公園内にあるガイダンスルームに移動して、お互いの活動紹介を行いました。最後は有明海の幸で昼食を取りながらお互い意見交換をし、今後も交流を続けていくことになりました。

野鳥飛来状況

12月28日午前9時～10時頃

クロツラヘラサギ・ズグロカモメ・ツクシガモ・ダイシャクシギ・ミヤコドリ・ダイゼン・ハマシギ・オナガガモ・コガモ……

今年は例年になく早い時期からクロツラヘラサギが飛来してきたと言われていました。全般的のハマシギ・カモ類が多くみられるようです。

観察会・関連行事のお知らせ

2月19日(日)東よか干潟ボランティアガイド観察研修
場所：荒尾干潟

(東よか干潟ボランティアガイド会員行事)

2月26日(日)午前9時～12時
東与賀町の干潟よか公園で、第4回新春親子凧揚げ大会を開催しますので参加ください。

*終了後ぜんざいを準備しています。



肥前鹿島 — 干潟 —

肥前鹿島干潟 (佐賀県鹿島市)

佐賀県南部有明海西岸の、塩田川と鹿島川両河口沿岸に発達した泥干潟に肥前鹿島干潟は位置します。

有明海最奥部の北岸にある「東よか干潟」と向き合っ
て対峙した位置にあり、反時計回りに流れる有明海
潮流の下流部、最も狭く奥まった所にもなります。

また、湾口より約 100 km 離れた場所に位置するた
め、黒潮（日本海流）の影響が小さく、海水は汽水性
が強いのも特徴です。この肥前鹿島干潟は泥干潟が特
に発達しているため、荒尾干潟、東よか干潟と同様に
東アジアにおけるシギ・チドリ類の重要な渡りの中継
地及び越冬地となっています。

- ・所在地 佐賀県鹿島市
- ・登録面積 57ha ・湿地のタイプ 干潟
- ・保護の制度：国指定鳥獣保護区特別保護地区
- ・登録：2015年5月

活動状況

●まえうみ市民の会定例会

毎月「有明海の今」を会員同士で
情報交換する定例会を、平日夜鹿
島市交流プラザかたらいで開催し
ています。ラムサール関連の取組状況や、有明海の
海況、まえうみの幸等内容盛りだくさん。次回は 1 月
20 日(金)19:00～。今年度中に佐賀市内開催も予定。



●新商品「ムツゴロウ丸干し」発売！

有明海産の海産加工品を製造・販売する川田食品(鹿島
市・まえうみ市民の会会員)さんが
新しいムツゴロウを使った商品を開
発、販売開始しました。



その名も「ムツゴロウ丸干し」。
鹿島は IWC2011 で世界一になっ
た日本酒「鍋島」がある屈指の酒
蔵処(6 蔵あります)。鹿島の地酒
にぴったりのおつまみ誕生で、ま
えうみものでのワイズユースも一
歩前進！



東京でのイベントでタレントの矢口真里
さんにも食べて頂きました。(提供写真)

●カキ礁観察の講座が行われました

有明海(浜川河口)にある「カキ礁」へ船に乗り観察
してきました。佐大・エイブルの公開講座、市干潟案
内人養成講座の各教室・講座で実施され、スミノエ
ガキやシカメガキ等の有明海ならではのカキと、普段
見られない海苔養殖の漁場を
見学

しました。



今回の一枚



まえうみ市民の会では、「ぐるっとまわろう！有明海
バス遠足」なるものを毎年開催しております。これま
でに佐賀市川副町の実業家さん、柳川市の夜明茶屋
さん、荒尾市のエコパートナーあらか市民会議さん、
雲仙市の環境省自然保護官さん、太良町の竹崎観音
寺・和尚さん等々、たくさんの有明海沿岸の皆様との
交流を行い、「有明海沿岸のみんながひとつに繋がる」
取組みを続けています。(写真は太良町竹崎にて)

野鳥飛来状況

12月28日午前9時～10時
(干潟) ツクシガモ・マガモ・オナガガモ・コガモ・ダイゼン・
ハマシギ・アオアシギ・ズグロカモメ・ユリカモメ
(クリーク) アオサギ・ヒドリガモ・ヨシガモ・ミサゴ

今年はツクシガモが少ないようです。ズグロカモメは
例年並み。ヒドリガモ、ヨシガモの大麦への食害は、
大麦を播く時期が遅かったためまだ芽が出ておらず
食害は今のところ発生していません。

観察会・関連行事のお知らせ

- 肥前鹿島干潟 野鳥観察講座(佐大・エイブル・まえうみ合同)
日時 29年1月15日(日)9:30～12:00
集合場所 鹿島市生涯学習センター エイブル
(バスで移動し、観察後エイブル室内で座学有)
★事前申込み必要・参加保険料各自負担★
申込み エイブル事務局 電話 0954-63-2138
- まえうみ市民の会バス遠足(荒尾干潟行事参加)
日時 29年2月5日(日)8:00～18:00
★まえうみ市民の会 会員行事
(鹿島・佐賀より貸切バスで荒尾入りします)
- 「ビゼンクラゲ」の料理ワークショップ(仮題)
日時 29年3月11日(土)
場所：鹿島市産業活性化施設「海道しるべ」
問合せ 佐賀大学低平地沿岸海域研究センター
電話 0952-28-8846
- 佐賀大学・鹿島市 まえうみシンポジウム
日時 29年3月開催予定
ラムサール条約をテーマに開催予定
場所：鹿島市生涯学習センター エイブル
問合せ 佐賀大学低平地沿岸海域研究センター
電話 0952-28-8846

編集担当より

有明海 3 登録湿地で、初の共通
誌発行ができ大変嬉しい限りです。これ機にどんどん
盛り上げていけるよう頑張っていきましょう！